



# 柏市学校図書館だより

中学校版  
第3号  
令和7年10月  
柏市学校図書館

野山も徐々に秋色に変わってきました。行事がたくさんある時期です。全力で取り組んだ日の夜は、リラックスして過ごしましょう。秋の夜は、虫の音が涼しく感じられ、読書などには最適です。

学校図書館では、秋に読むぴったりの本を用意しております。

## ■ 令和7年度 市内中学生ビブリオバトル（知的書評合戦） ■

【各ブロック予選】2025年10月1日（水）～10月10日（金）16時から 1時間程度

場所：各中学校（オンライン開催）

【決勝】2025年10月19日（日）10時30分から 1時間程度

場所：パレット柏 オープンスペース

主催：柏市立図書館

★ ★ ★ 歴代チャンプ本 ★ ★ ★  
R4年度『匿名』柿原朋哉 R5年度『方丈記』鴨長明 R6年度『砂の女』安部公房



## 第79回 読書週間 10月27日～11月9日



今年の標語は「こころとあたまの、深呼吸。」です。  
深呼吸（読書）によって、心や頭の疲れが取れ、自由な気持ちが戻ってきます。  
心のままに「読書の秋」を楽しみましょう。



## ■ 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025開催 ■

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのことで、デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。

国際的な「耳がきこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」で、記念すべき100周年の

大会が11月15日～26日の12日間、  
東京で初めて開催されます。

参考：「東京2025デフリンピック大会情報サイト」  
<https://deaflympics2025-games.jp>

Q.どんな競技があり、どんな工夫がされているのかな？

『ビジュアルブック∞障害のある人とともに生きる 2 耳の不自由な人をよく知る本』大沼直紀（監）合同出版 図書館の本で調べてみよう！



## おすすめ本

## テーマ【音が聴こえない世界を知る本】

『「コード」のぼくが見る世界

聴こえない親のもとに生まれて』

五十嵐大（著）紀伊國屋書店〈NDC369〉

コードとは「耳が聴こえない、あるいは聴こえにくい親のもとで育った、聴こえる子どもたち」を意味します。コードとして育った著者の体験や思いを読み、知ること、健常者向けに設計された社会や考え方について気づきを与えてくれます。

『目で見ることばで話をさせて』

アン・クレア・レゾット（作）横山和江（訳）岩波書店

〈NDC933〉

1805年マーサズ・ヴィンヤード島は、ろう者も聴者も当たり前手話を使って会話をしていました。島で育った11歳の少女メアリーですが、ある日、傲慢な科学者に誘拐され、無知によるろう者への偏見が酷いボストンで、ことばと自由を奪われてしまいます。

☆紹介した本は、自校で所蔵していないものもあります。

柏市学校図書館だよりは5月・7月・10月・12月・3月に発行予定です。